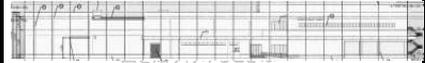


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社正徳 第三工場新築工事	階数	地上2F
建設地	姫路市白浜町字末広新開甲1920番	構造	S造
用途地域	工業	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年6月9日
敷地面積	12,158 m ²	作成者	大和ハウス工業車田克則
建築面積	5,635 m ²	確認日	2022年6月9日
延床面積	7,009 m ²	確認者	大和ハウス工業車田克則



シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他						
敷地内に適切な量の駐車スペースを設けている。壁面位置、外装の形状や色彩において圧迫感のない印象としている。	0						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>Q1 室内環境</th> <th>Q2 サービス性能</th> <th>Q3 室外環境(敷地内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床、壁、天井のうち二面に吸音材を使用している。</td> <td>内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。</td> <td>敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。</td> </tr> </tbody> </table>	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	床、壁、天井のうち二面に吸音材を使用している。	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)					
床、壁、天井のうち二面に吸音材を使用している。	内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>LR1 エネルギー</th> <th>LR2 資源・マテリアル</th> <th>LR3 敷地外環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LED照明の設置</td> <td>節水便器 節水水栓を採用している。</td> <td>建物利用者の為の適切な量の駐車場を確保している。</td> </tr> </tbody> </table>	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LED照明の設置	節水便器 節水水栓を採用している。	建物利用者の為の適切な量の駐車場を確保している。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境					
LED照明の設置	節水便器 節水水栓を採用している。	建物利用者の為の適切な量の駐車場を確保している。					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される